

豚・牛の特性に合わせた堆肥化促進剤

豚レスキュー

レスキュー
rescue 45
環境にやさしいたい肥化促進システム

トヨタ自動車株式会社
による開発

堆肥舎をレスキュー

低級脂肪酸などの悪臭を抑えたい



豚糞堆肥化時の悪臭を 従来の約90%低減。

豚糞の臭気は主に低級脂肪酸類とアンモニアです。「豚レスキュー」は低級脂肪酸類を微生物(※)で分解、アンモニアの揮散も抑制して堆肥化時の臭気を最大で従来の90%程度低減します。

植物繊維などの難分解性有機物を分解することもできるため、堆肥化促進効果も期待できます。

※微生物 (TAB7株) は2014年3月
トヨタ自動車にて特許取得済。

- ・毒性・危険性なし (バイオセーフティレベル 1)
- ・低級脂肪酸類と難分解性有機物を分解
- ・遺伝子組み換え微生物ではありません
- ・活動温度は 20 ~ 60℃

においを抑えながら効率の良い堆肥づくりを実現

「豚レスキュー」を実際に養豚農場にて使用し、不使用時との低級脂肪酸類濃度を比較した結果、下記の数値が得られました。

効果

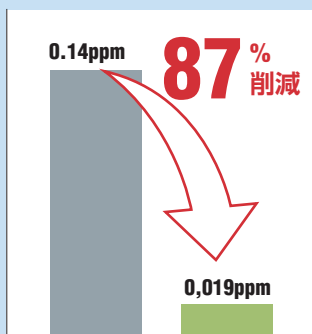


実証ファームでの堆肥化開始から 1 週間の臭気分析結果

低級脂肪酸類 を60~90%低減!

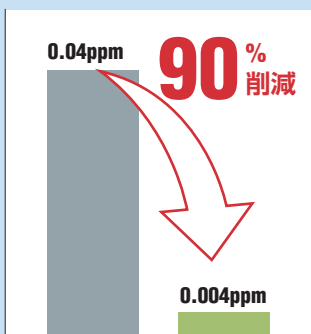
酪酸 プロピオン酸
吉草酸 イソ吉草酸

● 酪酸



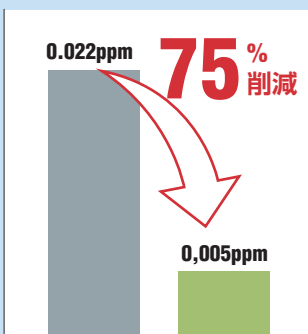
不使用時 豚レスキュー

● プロピオン酸



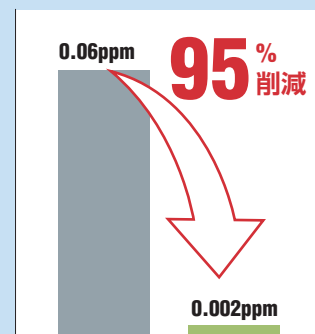
不使用時 豚レスキュー

● 吉草酸



不使用時 豚レスキュー

● イソ吉草酸



不使用時 豚レスキュー



堆肥化コンサルティングを承っています。

堆肥化のノウハウを集結
電気代 75% 削減、処理能力アップ。お気軽にご相談ください。

使用方法

「豚レスキュー」は、下記の使用量および使用上のポイントに注意してお使いください。

使用量	約10m ³ の豚糞に対して1袋を添加
堆肥化形式	堆肥化形式によらず、常に10m ³ に対して1袋を使用
堆肥化形式例	1. レーン式（直線、エンドレス） 2. ピット式 3. 縦型コンポスト

使用上のポイント

水分調整、適当な酸素供給により確実に温度上昇させてください。

- 温度上昇させないと十分な消臭効果を得ることができない場合もあります。
- 豚糞性状により、発酵による温度上昇が出来ていない農場も多々あります。
- 本製品の効果は堆肥化自体の改善ではないため、この部分は農家様による改善が必要となります。

実際の使用例

● ピット形式

- 1 豚糞10m³に対して、1袋の「豚レスキュー」を散布
(生糞とオガ粉等の副資材とを混合する際に、「豚レスキュー」も同時に混合)
- 2 ピット式発酵槽に投入して発酵処理



● レーン形式

- 1 直線レーン・エンドレスレーンともに、
発酵に適当な水分調整後レーン内へ糞を投入
- 2 上部に「豚レスキュー」を散布して、攪拌装置にて混合
(散布量は、おおよその投入量10m³に対して1袋を散布)



商品概要

堆肥をレスキュー



豚レスキュー 9.5kg/袋

- ① 微生物 (Bacillus 属細菌: TAB7 株)
- ② 副資材 パーライト等

微生物 (TAB7 株) について

1. 微生物の探索
日本各地 (約 100 箇所の農場) の堆肥化サンプル中からの
低級脂肪酸分解微生物の探索
2. 微生物の同定
Bacillus 属に属する好熱細菌と特定 (TAB7 株)
2014 年 3 月トヨタ自動車にて特許取得済み



豚レスキュー
ホームページ